

令和 8 年度

教育行政重点施策



— 井原体育館空調設備整備事業 令和 7 年 12 月 25 日竣工 —

井 原 市 教 育 委 員 会

————— 目 次 —————

井原市第7次総合計画後期基本計画 施策の体系図

I 基本方針	1
II 施策の体系	2
III 重点施策	
よりよい学校教育により よりよい社会を創る	3
心豊かで郷土を愛する人を育む生涯学習	10
個性ある地域文化を育むまちづくり	17
スポーツの力でつくる ひととまち	21
教育施設・設備の整備と機能の充実	26
〈参考〉教育関係予算の概要	29
令和8年度児童生徒数見込み	32

井原市民憲章

S43.4.1 制定

わたくしたちは、緑の山と小田川の清流に恵まれて豊かに育った井原市民です。

山陽道に沿って、早くから文教が興り、産業の栄えたわたくしたちのまちは、今やたくましい足どりで、瀬戸内圏の輝くあすへ大きく前進しています。

わたくしたちは、先人ののこしてくれたこの郷土を、強い自覚と責任をもって、次の世代へ伝えるに足る誇り高い井原市とするために、こぞって力をあわせましょう。

- Ⅰ 健康に輝く、清潔な町をつくりましょう。
- Ⅰ 働くことに喜びをもち、生産の意欲あふれる町をつくりましょう。
- Ⅰ お互いの立場を尊び、秩序正しい町をつくりましょう。
- Ⅰ 子どものしあわせをはぐくみ、夢と希望にみちた町をつくりましょう。
- Ⅰ 教養を深め、文化の香り高い町をつくりましょう。

1 施策の体系

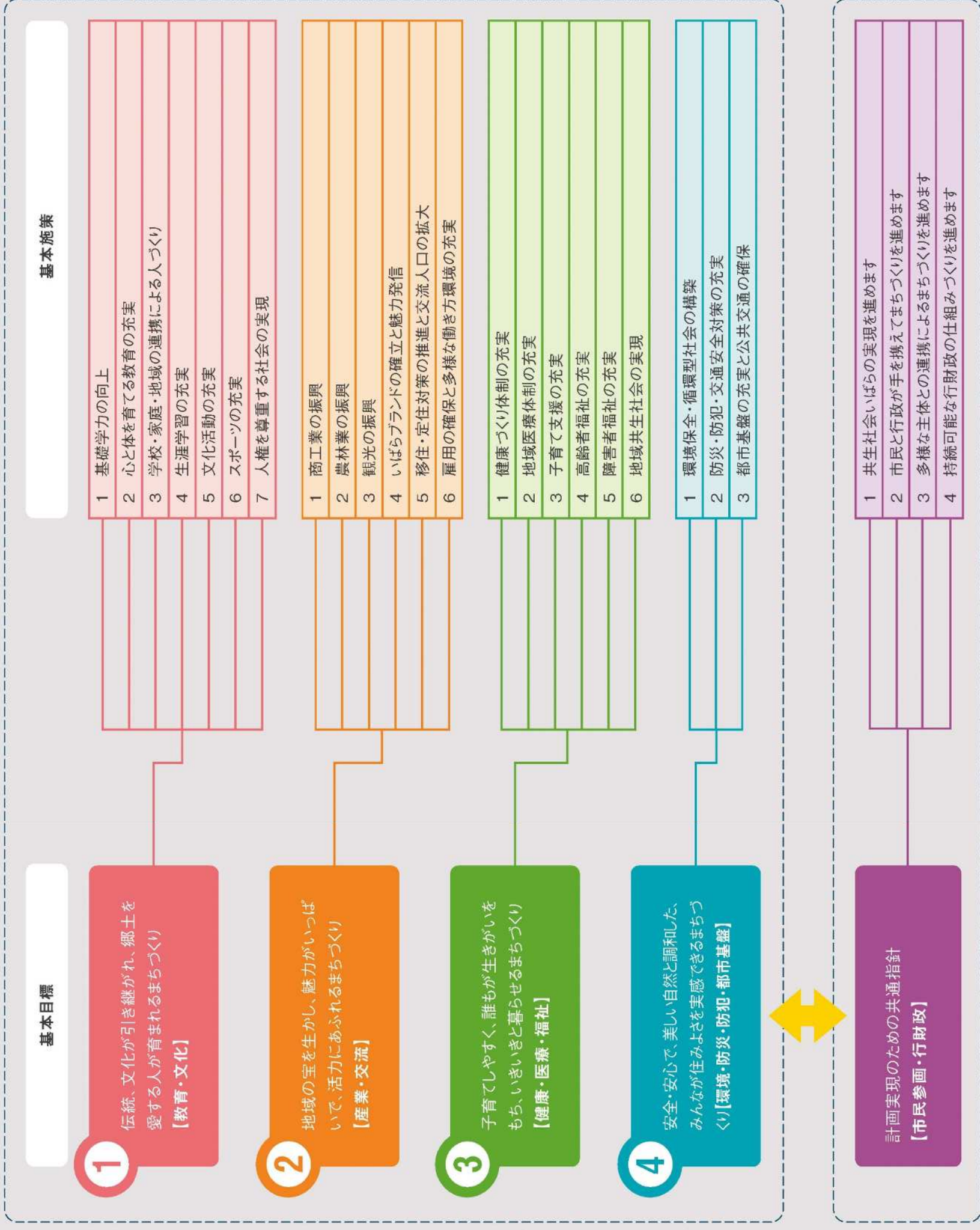
基本理念

輝くひと 未来創造都市 いばら

将来像

- ① 安全・安心・健康・便利なくらしができています ↑くらしの視点
- ② 故郷を愛し、やさしい人が育っています ↑こころの視点
- ③ 豊かな資源を大切に、創造・発展・発信しています ↑ゆたかさの視点
- ④ みんなでまちをつくっています ↑すいしんの視点

将来像実現のため、政策分野ごとに基本目標を設定します



I 基本方針

本市では、「井原市第7次総合計画」に基づき、「輝くひと 未来創造都市 いばら」の実現に向け、各種施策に取り組んでおります。

令和8年度は、第7次総合計画後期基本計画の4年目の年であり、引き続き、教育分野での基本目標である「伝統、文化が引き継がれ、郷土を愛する人が育まれるまちづくり」の実現に向けて、各種施策を実施してまいります。

学校教育の充実については、情報通信技術の進展や人工知能の高度化等により、人間関係の希薄化や価値観の多様化が進行し、子どもを取り巻く社会環境は急激に変化しています。このような時代においては、変化を前向きに捉え、多様性を尊重しつつ他者と協働し、主体的に課題を解決していく能力の育成が求められています。全ての子どもたちが確かな学力と豊かな人間性を育み、ふるさとへの誇りと郷土愛を持って地域社会の担い手として成長できるよう、「ふるさと井原の未来を創るひとづくり」を重点施策として、教育の充実と人材の育成に取り組んでいきます。

また、学校・家庭及び地域が連携・協働しながら、基礎学力などの認知能力の定着に加え、学びに向かう力や人間性といった非認知能力の育成を図るとともに、いじめ・不登校対策やインクルーシブ教育を推進し、子ども一人ひとりが安心して学べる環境づくりに努め、社会に開かれた教育課程の実現を目指し、地域の人材や資源を積極的に教育に活用し、体験的・協働的な学びを通じて地域とのつながりを深める教育活動を推進していきます。

さらに、児童生徒数等の減少による教育的課題が顕在化していることから、これらに対応するため、幼稚園については、「井原市就学前教育・保育施設のあり方検討委員会答申」（令和7年11月答申）を踏まえて策定した「井原市就学前教育・保育施設再編整備計画」（令和8年2月策定）に基づき、その着実な推進を図るとともに、小・中学校においては、「小・中学校のあり方検討委員会」を設置し、将来を見据えた学校施設の適正規模・適正配置の検討を計画的に進め、教育の質の確保と持続可能な学校運営の実現を推進していきます。

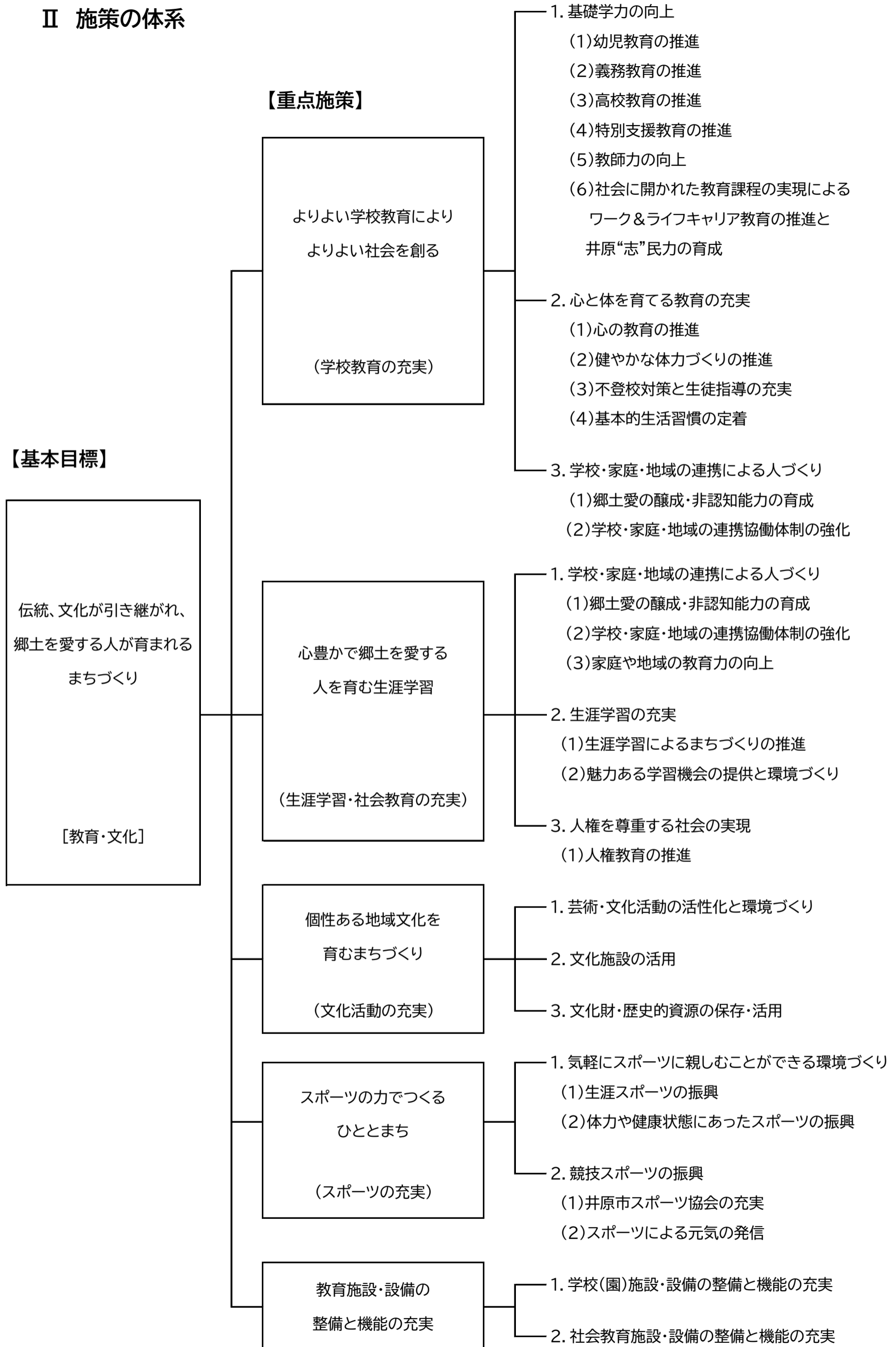
生涯学習の充実については、まちづくりの基本はひとづくりであるにとらえ、自己の充実や啓発に向けて学ぶとともに、地域の魅力拡大や課題解決に参画する意欲を高めるなど、持続可能な地域づくりの担い手となる人材を育成するために必要な学習環境や機会の充実を図ります。

文化活動の充実については、「個性ある地域文化を体感できるまちづくり」を実現するため、優れた芸術・文化にふれあう機会の拡充に努め、各種芸術・文化団体の育成支援及び自主的な活動の一層の促進を図るなど、多くの市民が芸術・文化活動に主体的に参画することにより交流の輪が広がるよう、多彩な芸術・文化イベントの開催や芸術・文化活動の拠点となる文化施設の連携、運営の充実を図ります。併せて、学校部活動の地域展開を見据え、地域の文化団体や指導者と連携し、子どもたちが地域の中で多様な文化活動に継続して親しむことができる環境づくりを進めます。

スポーツの充実については、子どもから高齢者まで市民のニーズに合わせて楽しむことができる生涯スポーツや、健康づくり・体力づくり・仲間づくりとしてのスポーツを振興します。また、学校部活動の地域展開を推進し、地域スポーツクラブや関係団体との連携により、子どもたちが安全・安心にスポーツに親しむことができる持続可能な活動環境の整備を図ります。

なお、教育関連の施策の実施にあたっては、「井原市教育大綱」（令和5年2月策定）や、「第4期井原市教育審議会答申」（平成29年10月答申）などを踏まえて、本市の教育行政の振興、発展に向けた取り組みを積極的かつ着実に進めることとし、令和8年度から、本市のまちづくりの指針となる「井原市第8次総合計画」の策定に着手することに併せ、第5期井原市教育審議会を設置し、令和10年度からの本市の教育行政の方向性を示すこととしています。

II 施策の体系



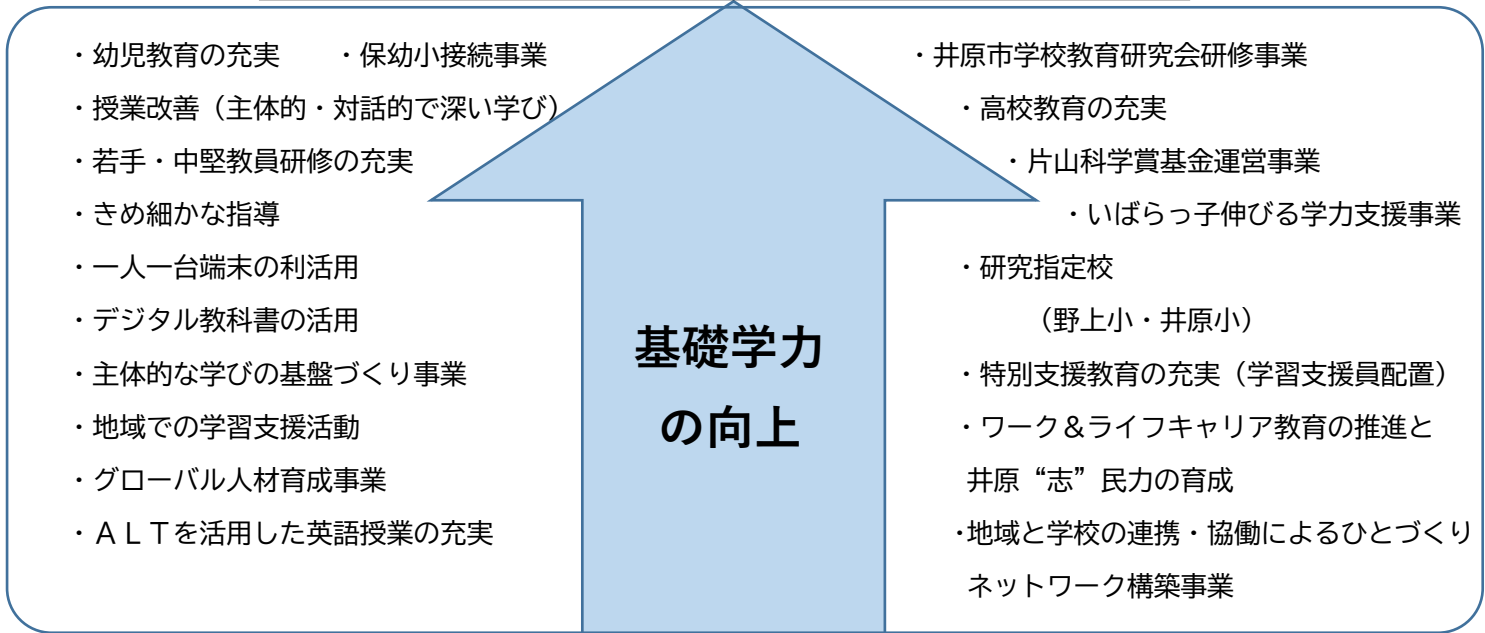
Ⅲ 重点施策

よりよい学校教育により よりよい社会を創る

(学校教育の充実)

令和8年度 井原市教育行政重点施策(学校教育課)構想図

ふるさと井原の未来を創るひとづくり



認め合い高めあう

- ・ふるさと井原魅力発見事業
(美術館・まほろば館・天文台見学)
- ・スポーツふれあい交流事業
「夢の教室」
- ・落ち着いた学級づくり支援事業
(WebQU)
- ・不登校児童生徒
対策事業
- ・ネットとスマホの
利用改善の推進

人間関係づくり

- ・体力づくり推進事業
- ・健康づくり優良児童生徒表彰
- ・いばらっ子生活リズム向上プロ
ジェクト
- ・防災教育の推進
- ・家族でパクパク
食育教室

- ・学びに向かう力・人間性等の涵養
- ・生きて働く知識・技能の習得
- ・思考力・判断力・表現力等の育成

確かな学力

豊かな心

- ・自らを律しつつ、他人と
ともに協調し、他人を思い
やる心や感動する心
- ・規範意識、道徳性
- ・郷土を愛する心

健やかな体

- ・たくましく生きるための
健康や体力
- ・食育の推進
- ・心身の健康の保持増進

心と体を育てる教育の充実・郷土愛の醸成

体験活動 ⇄ 自己実現 ⇄ 言語活動

社会に開かれた教育課程の実現

- 社会に開かれ、地域とともにある学校づくり ●学校・家庭・地域の連携・協働による人づくり
- ※ コミュニティ・スクール と ひとづくりネットワークの一体的推進

『よりよい学校教育により よりよい社会を創る』理念の共有

よりよい学校教育により よりよい社会を創る (学校教育の充実)

学校、家庭及び地域社会、関係諸機関との信頼に基づく連携・協働のもとに、ふるさと井原の未来を創る子どもたちに、生きて働く知識・技能の習得や未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等（認知能力）の育成はもちろんのこと、学んだことを社会や人生に活かそうとする学びに向かう力・人間性の涵養（非認知能力）を促す教育を推進する。そのために「ワーク&ライフキャリア教育」の推進による「学力」及び「井原“志”民力」の向上、「いじめ・不登校等の問題の解決に向けた取組」の充実を図る。

確かな学力の育成については、小学校において、言語活動の充実、きめ細かな指導、教職員研修の充実を図るとともに、全小中学校において主体的な学びの基盤づくり事業を継続するとともに、実態に応じた地域での学習支援活動を実施する。また、就学前からの教育を連続した学びにするため、保幼小中高の連携充実を図る。

豊かな心の育成については、人権尊重の精神を根底とし、総合的な学習の時間や道徳教育、読書活動、特別活動等の中で、体験活動（地域学校協働活動を含む）を通して、子どもの規範意識や郷土愛を育む教育を進める。また、いじめ・不登校等の問題の解決に向けて、専門家や関係機関との連携を強化し、相談体制の充実を目指す。

健やかな体の育成については、体育の授業の充実とともに、健康・安全教育や食育の推進を図り、心身共に健康な幼児・児童・生徒の育成を図る。

また、保護者や地域の方々が学校経営に参画することにより、目標やビジョンを共有し、社会総がかりで子どもたちの健全育成や学校運営の改善に取り組むよう、コミュニティ・スクールとひとづくりネットワークの一体的推進を図る。

以上のような取組により、学校、家庭及び地域社会、関係諸機関との信頼に基づく連携・協働のもと「社会に開かれ、地域とともにある学校づくり」と「学校・家庭・地域の連携・協働による人づくり」を促進する基盤となる社会に開かれた教育課程を実現し、新学習指導要領に示された『よりよい学校教育により よりよい社会を創る』という理念のもと、『ふるさと井原の未来を創るひとづくり』を目指す。

施 策	内 容
1. 基礎学力の向上 (1) 幼児教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○新就学前教育・保育施設再編整備計画の推進 ○幼稚園教育要領に基づく保育実践の充実 ○幼稚園教職員研修の充実 ○幼稚園における預かり保育の充実と家庭教育力の向上 ○保幼小接続事業 ○非認知能力育成プログラムの開発・導入※ ○他園交流の推進

<p>(2) 義務教育の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○いばらっ子伸びる学力支援事業 (非常勤講師配置、小1支援員配置) ○小規模校学習支援活動 ○全国学力・学習状況調査の実施 ○学力向上対策事業 ○一人一台端末を中心とするICT機器を利活用した教育活動の充実 ○デジタル教科書の活用推進 ○英語授業の充実(ALT8人の活用) ○グローバル人材育成事業 英語検定料補助金 ○主体的な学びの基盤づくり事業(13小学校、5中学校) ○片山科学賞基金運営事業 ○新小学校給食費の無償化
<p>(3) 高校教育の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○キャリア教育の充実* ○各種検定・資格の取得推進 ○主権者教育の推進 ○消費者教育の推進 ○一人一台端末を中心とするICT機器を利活用した教育活動の充実
<p>(4) 特別支援教育の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○学習支援員の活用(42人) ○巡回相談員の配置と活用(3人)
<p>(5) 教師力の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○若手・中堅教員研修の充実 ○ICT活用研修の充実 ○研究指定校による研究発表会 (野上小、井原小) ○井原市学校教育研究会研修事業の実施 ○定期及び要請による学校訪問 ○ICT支援員の活用 ○教師業務アシスタント配置(常勤6校、兼務12校) (常勤)西江原小・井原小・出部小・高屋中・ 木之子中・井原中 ○教育ネットワークの活用促進 ○校務支援ソフトの活用促進

(6) 社会に開かれた教育課程の実現によるワーク&ライフキャリア教育の推進と井原“志”民力の育成

○学校運営協議会の活用

- ・めざす子ども像・学校像の共有による学校運営方針等の作成・承認
- ・社会に開かれた教育課程の実現

○地域と学校の連携・協働によるひとづくりネットワーク構築事業の推進※

- ・各学校区ひとづくりネットワーク運営協議会の設置
- ・ひとづくりネットワーク懇談会の開催
- ・めざす子ども像・地域像の共有による地域学校協働活動の充実（地域での学習支援活動※、学校支援ボランティアの活用※を含む）

○「ふるさと教育」「起業家教育」の視点を入れたカリキュラム・マネジメントの推進※

- ・井原市カリキュラム・マネジメント研修会〔共学共創ラボ〕の実施
- ・総合的な学習（探究）の時間の見直し・充実
- ・共通探究課題・素材の設定
- ・井原“志”民力の活用

○「非認知能力」育成プログラムの導入※

- ・井原市版プログラムの開発・導入
- ・非認知能力及びプログラム導入に係る研修会の実施例）aeru school井原版、Ancsプログラム 等

※aeru school井原版…日本各地の豊かな文化や伝統、産業に親しみ“ホンモノ”に触れることで、日本やその地域への理解を進めるとともに、「感じる力」「観察する力」「言語化する力」をはじめとする非認知能力を育成するプログラム。本市においては、全幼稚園において『井原デニム』を取り上げ、遊びの中での関わりや物づくりの機会を設定。

※Ancsプログラム…アクティブラーナー（Active learner）を育てる非認知能力（non cognitive skills）向上プログラムの意。ゲストとして招聘した地域で活躍する大人たちの話や回りの友達の考えも参考にしながら、自分の良さを見つめ直したり、自分がこれからどうしていきたいか考えたりする中で、モチベーションアップを図るプログラム。本市においては、原則として全小学6年生で実施するとともに、希望する中学校、高校においても実施可能。

○ワーク&ライフキャリア教育の充実（中1パスカード、中2ワーク&ライフ職場体験、中3高校調べ、キャリア・パスポートいばら版の活用）※

<p>2. 心と体を育てる教育の充実</p> <p>(1) 心の教育の推進</p> <p>(2) 健やかな体力づくりの推進</p> <p>(3) 不登校対策と生徒指導の充実</p> <p>(4) 基本的な生活習慣の定着</p>	<p>○地域教材を活用した道徳教育の推進</p> <p>○学校司書の配置と読書活動の推進</p> <p>○人権教育担当者研修会の開催</p> <p>○情報モラルに関する指導の充実</p> <p>○体験活動の充実（地域学校協働活動を含む）※</p> <p>○体力づくり推進事業</p> <p>○健康づくり優良児童生徒表彰</p> <p>○いばらっ子生活リズム向上プロジェクト</p> <p>○不登校児童生徒の教育支援対策事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクールカウンセラー配置事業 ・スクールサポーター配置事業（中学校） ・不登校対策コーディネーター配置事業 ・登校支援員・別室支援員配置事業 ・不登校対策実践研究事業 ・不登校対策別室指導実践研究 <p>○落ち着いた学級づくり支援事業の充実</p> <p>○ネットとスマホの利用改善の推進</p> <p>○いじめ問題対策連絡協議会の開催</p> <p>○児童虐待の防止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・井原市要保護児童対策地域協議会との連携 <p>○ヤングケアラーへの対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との連携 <p>○いばらっ子生活リズム向上プロジェクト（再掲）</p> <p>○防災教育の推進</p> <p>○交通安全教育の充実</p> <p>○防犯意識の高揚と啓発活動</p> <p>○薬物乱用防止教育等の推進</p> <p>○栄養教諭による食育の推進</p> <p>○学校給食における食物アレルギーへの対応</p>
---	---

心豊かで郷土を愛する人を育む生涯学習

(生涯学習・社会教育の充実)

井原市の生涯学習

心豊かで郷土を愛する人を育む生涯学習
【生涯学習・社会教育の充実】

伝統、文化が引き継がれ、郷土を愛する人が育まれるまちづくり

学校・家庭・地域の連携による人づくり

生涯学習の充実

人権を尊重する社会の実現

人づくり

自主的・自発的な学びによる知的欲求の充足、自己実現・成長

つながりづくり

住民の相互学習を通じ、つながり意識や住民同士の絆の強化

学びと活動の好循環

地域づくり

地域に対する愛着や帰属意識、地域の将来像を考え取り組む意欲の喚起
住民の主体的参画による地域課題解決

心豊かで郷土を愛する人を育む生涯学習 (生涯学習・社会教育の充実)

第3次生涯学習基本構想・基本計画に基づき、学習のきっかけづくりや学習機会の拡充、人材の育成や人材活用の機会の拡充、学校、家庭、地域の連携や地域コミュニティの推進に重点を置いた施策の推進を図りながら、中央教育審議会の答申にあるように多様化・複雑化する課題と社会の変化に対応した持続可能な地域づくりに向け、「人づくり」「つながりづくり」「地域づくり」に主眼をおいた社会教育事業を展開できるよう時代に合った取り組みを進めていく。

新たな市民の学習ニーズの把握に努め、ライフステージに応じた生涯学習の普及啓発を図るとともに、地域課題解決型の講座を取り入れる等、講座内容を精選・工夫して展開する。また、子どもたちが、心身ともに健やかに成長していけるよう家庭教育に関する学習課題や、人権問題や高度情報化等にもなう現代的課題に適切に対応していくために、市民が気軽に参加できる講座等の充実を図る。

『ふるさと井原の未来を創るひとづくり事業』については、庁内関係各課及び関係諸団体と連携を深めることで効果的な事業展開を図り、地域と学校の連携・協働による「井原“志”民」の育成と「志縁コミュニティ」の形成を促進する。

また、公民館や生涯学習関連施設の計画的な整備・充実を図るとともに、地域住民が気軽に集い、学びながら交流できる開かれた公民館や学習施設を目指す。その際、公民館講座利用者や地域の公共的団体と共催して講座を企画・実施する等して、公民館において、学びの輪、人と人とのつながりが一層広がるよう留意する。

市民と行政が協働でまちづくりを進めていくために開催している「いきいきいばら出前講座」の充実や「まなびめいと」の活動支援に引き続き取り組む。また、学校、家庭、地域の連携強化を図り、協働して人材の育成に取り組む。

※『ふるさと井原の未来を創るひとづくり事業』関連事業については、令和2年度より「未来を担うひとづくり推進事業費」（教育費[款]－社会教育費[項]－未来を担うひとづくり推進事業費[目]）内事業として整理・統合を進めている。なお、目内に内包する事業については【未来を担うひとづくり推進事業①～⑥】と明示して関連を示している。

※「未来を担うひとづくり推進事業費（目）」全体構想は次頁参照

教育費（款）－社会教育費（項）

「未来を担うひとづくり推進事業」内事業一覧（R8）

第2世代

【未来を担うひとづくり推進事業①】（R1～）

ふるさと井原の未来を創るひとづくり事業（生涯学習課）

柱1) ひとづくりのまち「井原」の発信

夢&志づくり応援Laboratory「ゆめここ☆ラボ@井原」（R3～ ※R4見直し ※R5再見直し）
 含）井原“志”民塾（R4～）、シアワセ未来探究クラブ「Team夢源」（R7～）
 “夢&志”アクション助成（R6～）、ユースセンターいばら（R7～）

柱2) 社会に開かれた教育課程の実現

コミュニティ・スクールとひとづくり
 ネットワークとの一体的推進
 （R4～）※R7市内全小中高にCS導入完了

柱3) 地域社会・企業との連携

地域と学校の連携・協働によるひとづくりネットワーク構築事業（R2～）

基盤)	地域とともにある学校づくり推進事業	地域学校協働活動本部事業
統合)	地域土曜学習サポート事業	…R2より並列事業として目内に整理 R3より予算を「ひとづくりネットワーク構築事業」に統合し、『地域による学習支援活動』として地域学校協働活動に位置づけて実施
	チャレンジワーク14	…R2より予算を「ひとづくりネットワーク構築事業」に統合し、『ワーク&ライフ職場体験』として地域学校協働活動に位置づけて実施
連携)	放課後子ども教室推進事業	…R2より並列事業として目内に整理 R3より事業を「ひとづくりネットワーク構築事業」に統合し、地域学校協働活動の一環として実施するが、予算は県補助事業として別途要求
	青少年健全育成活動事業	…R4より「ひとづくりネットワーク構築事業」の関連事業として位置づけ、地域学校協働活動の一環として実施するが、予算は社会教育総務費内で別途要求

柱4) 高校・大学との連携

岡山大学教養教育科目『地域の未来デザイン』（R2～）

柱5) 家庭教育の支援

家庭教育支援総合推進事業（R5～）

柱6) 読書活動の推進

子ども読書推進事業（R5～）

【未来を担うひとづくり推進事業②】（R2～）

放課後子ども教室推進事業（生涯学習課）

【未来を担うひとづくり推進事業③】（R2～）

スポーツふれあい交流事業「夢の教室」（学校教育課）

【未来を担うひとづくり推進事業④】（R3～）

ふるさと井原魅力発見事業（学校教育課）

第2世代

【未来を担うひとづくり推進事業⑤】（R3～）

いばら就職支援事業（商工課）

特

【未来を担うひとづくり推進事業⑥】（R6～）

地域力創造アドバイザー活用によるブランディング事業（生涯学習課）

第2世代

…新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）
 [R4～3+2カ年予定]

特

…特別交付税措置10/10 [R6～3カ年予定]
 外部専門家（地域力創造アドバイザー）制度

施 策	内 容
<p>1. 学校・家庭・地域の連携による人づくり</p> <p>(1) 郷土愛の醸成・非認知能力の育成</p>	<p>【未来を担うひとづくり推進事業①】</p> <p>○ふるさと井原の未来を創るひとづくり事業</p> <p>柱1) ひとづくりのまち「井原」の発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「井原市ひとづくり推進本部」「井原市ひとづくり実行委員会」の開催 ・ひとづくりアドバイザーを招聘して研修会等の開催 ・井原“志”民力実態調査の実施 ・夢&志づくり応援 Laboratory『ゆめここ☆ラボ@井原』の団体化・連携 ＊井原“志”民塾（公開講座・オンライン講座等） ＊井原市公認シアワセ未来探究クラブ「Team 夢源」 <ul style="list-style-type: none"> 〔中高生=夢源 Makers〕 〔一般=夢源 Supporters〕 ＊地域キャスト「井原 Lovers」等 ＊ふるさと井原“夢&志”アクション助成 ＊ユースセンターいばら <p>柱2) 社会に開かれた教育課程の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと教育・起業家教育の視点を取り入れたカリキュラム・マネジメントの推進 （井原市カリキュラム・マネジメント研修会〔共学共創ラボ〕の開催） ・「ワーク&ライフ職場体験」の充実 ・「非認知能力」育成プログラムの導入 <p>柱3) 地域社会・企業との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域と学校の連携・協働によるひとづくりネットワーク構築事業（地域学校協働本部事業を含む） ※学校運営協議会との一体的推進 ・ひとづくり関係人口の拡大 ・地元企業・事業所との連携による地場産業魅力発信プログラムの開発・導入 <p>柱4) 高等学校・大学との連携促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内3高等学校の連携促進・魅力化支援 ・大学との連携促進（連携協定締結を含む） <p>柱5) 家庭教育の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育支援体制の整備

<p>(2) 学校・家庭・地域の連携協働体制の強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> * 学校園、公民館、子育て支援課、健康医療課及び市民ボランティア等との連携・協力（井原子育てネットワーク協議会） ・ 家庭教育に関する学習機会の拡充 <ul style="list-style-type: none"> * 子育て各期における課題別子育て講座の開催 * 親育ち応援学習プログラムの活用と推進 * 子育てイベントの実施 * 家庭教育学級（中央・各地区）、幼児教育学級、婦人学級等の支援 いばらっ子生活リズム向上プロジェクトとの連携 柱6) 読書活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 第5次子ども読書活動推進計画に基づく事業の推進 * 絵本づくり講座の開催 * 読み聞かせボランティア養成講座の開催 * 年齢別絵本ガイドの活用 * ブックスタート・セカンドブック事業の実施 <p>【未来を担うひとづくり推進事業①】</p> <ul style="list-style-type: none"> 柱2) 社会に開かれた教育課程の実現（再掲） 柱3) 地域社会・企業との連携（再掲） 柱4) 高等学校・大学との連携（再掲） 柱5) 家庭教育の支援（再掲） <p>【未来を担うひとづくり推進事業②】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 放課後子ども教室事業の実施 <p>【未来を担うひとづくり推進事業⑥】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域力創造アドバイザー活用によるブランディング事業の実施 ○ 井原市連合少年団協議会の活動支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ デイキャンプ、少年レクリエーション大会等 ○ 美星っ子づくり協議会の活動支援 ○ 友好親善都市児童交流事業（大田原市歓迎・魚津市訪問）の実施 ○ 二十歳のつどいの実施 ○ 地区青少年を育てる会等の活動支援 ○ 青少年育成センター事業、教育相談室事業の推進
-------------------------------	--

<p>(3) 家庭や地域の教育力の向上</p>	<p>【未来を担うひとづくり推進事業①】</p>
	<p>柱5) 家庭教育の支援(再掲)</p>
	<p>柱6) 読書活動の推進(再掲)</p>
<p>2. 生涯学習の充実</p>	<p>○生涯学習推進本部の機能の充実</p>
<p>(1) 生涯学習によるまちづくりの推進</p>	<p>○生涯学習関連事業の把握と総合的な推進</p>
	<p>○学習情報の発信</p>
	<p>・生涯学習ガイド「まなびすと」や子ども情報紙「でんしょばと」の発行</p>
	<p>○計画的な社会教育主事(社会教育士)の育成</p>
<p>(2) 魅力ある学習機会の提供と環境づくり</p>	<p>○成人大学講座の開設</p>
	<p>○高齢者学級の開催</p>
	<p>(寿大学院、芳寿大学、美星長寿学級・むつみ会)</p>
	<p>○図書館蔵書の充実と図書館の利用促進</p>
	<p>○地域の特徴を生かした開かれた公民館活動の推進</p>
	<p>○パソコン講座等の支援(貸出用パソコンの活用)</p>
	<p>○生涯学習の成果発表の機会づくり</p>
	<p>・生涯学習の集いまなびフェスタ in いばら、文化祭等の開催(作品展示、体験講座等)</p>
	<p>○芳井生涯学習センター文化講演会の開催</p>
	<p>○芳井生涯学習センターコンサート事業の実施</p>
	<p>(隔年：令和8年度実施)</p>
	<p>○優秀映画鑑賞会、子ども映画会の実施</p>
	<p>○人材活用の拡充</p>
	<p>・びんご人材ネットワーク「まなびんご」の活用</p>
	<p>○民間団体等との協働による事業の推進</p>
	<p>・アクティブライフ井原まなびめいと(少年少女合唱団・ジュニア弦楽合奏団・井原アートクラブ)の活動支援</p>
	<p>○いきいきいばら出前講座の実施</p>
<p>3. 人権を尊重する社会の実現</p>	<p>○くらしと人権講座の開催</p>
<p>(1) 人権教育の推進</p>	<p>○諸学級、諸団体等での人権学習・人権啓発活動の推進</p>
	<p>(PTA、地区、企業等)</p>
	<p>○市長部局との連携による人権教育、啓発活動、男女共同参画社会づくりの推進</p>
	<p>○井原市ふれあいセンターでの交流活動等の推進</p>

個性ある地域文化を育むまちづくり

(文化活動の充実)

井原市の文化

個性ある地域文化を育むまちづくり

文化活動の充実

芸術・文化活動の活性化と環境づくり

- 『鏡獅子』の活用
- 平櫛田中美術館の特別展・企画展の開催
- 芸術・文化団体の育成・支援
- 文化祭・各種文化発表会の開催支援
- 芸術・文化イベントの企画・開催
- 文化部活動の地域展開の推進

文化施設の活用

- 平櫛田中美術館・市民ギャラリー・田中苑の維持管理と利用促進
- 文化施設の維持管理と利用促進

文化財・歴史的資源の保存・活用

- 文化財センターの活用と各種講座の開催
- 芳井歴史民俗資料館特別展・企画展の開催
- 歴史・文化遺産の情報発信
- 郷土偉人の伝承
- 伝統芸能の保存・継承

個性ある地域文化を育むまちづくり (文化活動の充実)

市民が生涯にわたって豊かな情操を養い、潤いのある生活を築き、個性ある地域文化を創造するため、優れた芸術・文化にふれあう機会を拡充するとともに、芸術・文化団体の育成を図るなど、市民の芸術・文化活動を促進する。

また、平櫛田中美術館において20年ぶりに里帰りした平櫛田中の代表作「鏡獅子」の効果的な活用や特別展・企画展の開催、ワークショップの開催、市民ギャラリーの利用促進を図ることにより、市民や市外からの来館者が集う芸術・文化拠点となるよう事業を進める。

さらに、あらゆる文化財の保存を計画的に進め、地域に残された文化遺産を情報発信することにより、市民の理解を深めるとともに、文化財保護意識と郷土愛を育み、先人が守り伝えた文化遺産の保全と積極的な活用を図り、活力ある地域をつくる。

施 策	内 容
1. 芸術・文化活動の活性化と環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・「鏡獅子」の活用 ・臨平櫛田中美術館特別展「平櫛田中×現代作家コラボレーション（仮称）」の開催 ・平櫛田中美術館ワークショップの開催 ・芸術・文化団体の育成・支援 ・文化祭、各種発表会の開催支援 ・井原市文学賞の実施 ・観月会の開催 ・伝統文化体験教室「和の楽校」の開催支援 ・文化部活動の地域展開の推進
2. 文化施設の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・平櫛田中美術館での芸術文化の情報発信 ・市民ギャラリーの利用促進 ・田中苑、文化財センター、芳井歴史民俗資料館、星の郷民具伝承館、桜溪漢学塾公園の維持管理 ・市民茶室の維持管理と利用促進

<p>3. 文化財・歴史的資源の保存・活用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財センターの活用 <ul style="list-style-type: none"> 埋蔵文化財の整理・保存 歴史資料の整理・保存 体験講座・考古学講座の開催 文化財めぐりの開催 ・文化財センター企画展の開催 ・井原市歴史講座の開催 ・芳井歴史民俗資料館特別展・企画展の開催 ・伝統芸能の保存・継承 ・歴史・文化遺産情報発信事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ホームページ「いばら歴史館」による情報発信 (井原歴史人物伝、指定文化財、伝統芸能、井原昔ばなし) ・新野外彫刻の修繕
---------------------------	---

スポーツの力でつくる ひととまち

(スポーツの充実)

基本目標

『スポーツの力でつくる ひととまち』

気軽にスポーツに
親しむことができる
環境づくり

競技スポーツの振興

生涯スポーツ
の振興

- ・スポーツ教室の開催
- ・生き生きクラブの支援
- ・スポーツ推進委員の活動の充実
- ・ニュースポーツの普及

体力や健康状態に
あったスポーツ
の振興

- ・スポーツ大会等の実施
- ・ライフステージに応じたスポーツ機会の充実
- ・運動部活動の地域展開の推進

井原市スポーツ協会
の充実

- ・各種スポーツ大会の開催
- ・高レベルの技術に触れる機会の創出
- ・ジュニアの育成

スポーツによる
元気の発信

- ・陸上競技、新体操のまちづくり
- ・各競技レベルの向上
- ・スポーツ指導者の育成

井原市スポーツ協会、井原市文化・スポーツ振興協会等との連携

スポーツ環境の整備

- ・体育施設の定期的な点検及び維持管理
- ・公園施設長寿命化計画の策定

スポーツの力でつくる ひととまち (スポーツの充実)

スポーツは、体を動かすという人間の本源的な欲求に応え、精神的充足をもたらすものであり、スポーツを楽しみながら適切に継続することで、生活習慣病の予防・改善や介護予防を通じて健康寿命を伸ばすことができる。更に、スポーツは人と人とのふれあいや結びつきを深め、人間関係を豊かなものにするとともに、地域の一体感の醸成や地域社会の活性化にもつながるなど、極めて大きな意義があり、これらの実現を目指すため、井原市スポーツ推進計画（第3期）に基づき、総合的にスポーツの推進を図る。

また、いつでも、だれでも、どこでも、ライフステージに応じてスポーツに親しむことができる環境をつくるとともに、市民一人ひとりが年齢や体力等に応じてスポーツに取り組み、スポーツの大切さを再認識し、自主的にスポーツに取り組むきっかけづくりの場を提供する。

競技スポーツでは、井原市スポーツ協会を中心に関係団体が一体となって、若い世代の育成を図るとともに、全体的な競技人口の増加に向けた取組を進める。また、市民にスポーツへの関心を持ってもらうため、ハイレベルな競技に接する機会を創出するとともに、「陸上競技」「新体操」だけでなく、その他の競技におけるレベルアップを図り、井原市の元気を発信する。

また、部活動の地域展開の受け皿となる地域クラブの整備を行い、地域展開を推進する。

施 策	内 容
1 気軽にスポーツに親しむことができる環境づくり (1) 生涯スポーツの振興	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ教室の充実 弓道教室、テニス教室、ソフトテニス教室、卓球教室、バドミントン教室、新体操教室、水泳教室、カヌー・SUP アクアトレーニング教室、海洋クラブ、新海洋スポーツ体験教室、新親子 SUP 体験教室 ・いばら生き生きクラブの活動の充実と自立の促進 ソフトバレーボール、弓道、テニス、陸上競技、卓球（昼・夜）、合気道、華道、野球、バウンドテニス、バドミントン（芳井）、ペタンク、トランポリン、バレーボール、バドミントン（美星）、吹奏楽、空手（15 種目 17 サークル） 生き生きクラブ会員の交流（ニュースポーツ体験会） ・スポーツ推進委員の活動の充実 地域スポーツ教室等の実施、井原市スポーツフェスティバルへの参画

	<ul style="list-style-type: none"> ・ ニュースポーツの普及 ニュースポーツのPR及び備品の貸出
<p>(2) 体力や健康状態にあったスポーツの振興</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツ大会等の実施、充実 井原市スポーツフェスティバルの開催 全国健康マラソン井原大会、星の郷ふれあい健康マラソン大会等の開催 ・ グラウンド・ゴルフ場の利用促進 高齢者健康増進施設として高齢者の利用の促進、市外の利用者との交流 ・ 運動部活動の地域展開の推進
<p>2. 競技スポーツの振興 (1) 井原市スポーツ協会の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種スポーツ大会の開催 <ul style="list-style-type: none"> 《井原体育館・芳井体育館》 バレーボール大会、卓球大会、バドミントン大会、空手道大会、柔道大会、剣道大会、合気道体験会、ソフトバレーボール大会、太極拳体験講習会 《陸上競技場・芳井運動場・美星運動場》 野球大会、陸上選手権大会、ミニサッカー大会、ソフトボール大会 《野球場》 野球大会 《庭球場》 庭球大会 《弓道場》 弓道大会 《グラウンド・ゴルフ場》 グラウンド・ゴルフ大会 《ロード》 市民サイクリング大会、井原市駅伝競走大会 《リフレッシュ公園》 野球大会、ソフトボール大会、サッカー大会 《その他》 市民ゴルフ大会 ・ 競技人口の増加対策 井原市スポーツ協会、各スポーツ協会、スポーツ少年団、グループ等の活動支援

	<ul style="list-style-type: none"> ・高レベルの技術に触れる機会の創出 井原カップ男子新体操競技大会、井原新体操フェスティバル、県ハーフマラソン選手権大会、県高校駅伝競走大会（男女）、マラソン大会ゲストランナー（全国健康マラソン井原大会）、プロチームによる体験教室（市民スポーツの日） ・井原市スポーツ協会長表彰 体育功労者・団体及び優秀選手・団体を表彰・顕彰
<p>(2) スポーツによる元気の発信</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・陸上競技、新体操のまちづくり 興譲館高校陸上競技部への支援、新体操選手育成強化支援（井原高校、井原ジュニア新体操クラブ、Sparkle井原R.G） ・大会開催や大会出場への補助 県高校駅伝競走大会、新体操大会、選手派遣 ・講習会の実施 ソフトボール審判講習会、バレーボール審判講習会、軟式野球審判講習会、熱中症対策講座、救急法講習会 スポーツ指導者育成講習会の開催 ・井原市スポーツ表彰 顕功賞、栄誉賞、奨励賞、功労賞 ・文化・スポーツ振興協会との連携 スポーツの普及振興に寄与する事業及び活動を行う団体への助成事業、スポーツ競技に功績をあげた者への激励事業 ・スポーツ施設の整備・充実 臨公園施設長寿命化計画の策定 臨マラソン公認コース継続認定申請 競技をする上で必要となる施設・設備の整備・充実

教育施設・設備の整備と機能の充実

教育施設・設備の整備と機能の充実

学校施設については、令和7年度に実施した建築基準法第12条点検の結果を踏まえ、子どもたちが安全で安心して学校生活を送ることができるよう、校舎等の機能回復に必要な改修を実施する。併せて、夏季における気温の上昇を踏まえ、子どもたちの健康や安全の確保及び避難所機能の強化を目的として、学校施設の屋内運動場への空調設備の整備に着手する。

社会教育施設については、地域住民が安全かつ快適に利用できる環境を確保するため、施設の老朽化状況などを踏まえながら、利用者の安全性及び利便性の向上に配慮した整備や設備の改修に計画的に取り組むとともに、井原市立図書館の今後のあり方や整備に向けた基本構想の策定に着手する。

施 策	内 容
1. 学校(園)施設・設備の整備 と機能の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○営繕工事 <ul style="list-style-type: none"> 建築基準法に基づく施設点検結果を踏まえた施設改修（屋上防水・外壁改修） <ul style="list-style-type: none"> 2 小学校（荏原・出部） 1 中学校（木之子） 建築基準法に基づく施設点検結果を踏まえた施設改修（部分改修） <ul style="list-style-type: none"> 7 小学校（高屋・県主・野上・青野・井原・出部・美星） 1 中学校（木之子） ○屋内運動場空調設備整備事業 <ul style="list-style-type: none"> 空調設備整備及び断熱化改修工事設計業務委託 <ul style="list-style-type: none"> 2 中学校（高屋・井原）
2. 社会教育施設・設備の整備 と機能の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○公民館 <ul style="list-style-type: none"> 屋根防水修繕（稲倉公民館） 駐車場新設工事（荏原公民館） ○アクティブライフ井原 <ul style="list-style-type: none"> 非常用発電機更新修繕 荷物用（2号）エレベーター修繕 メルヘンホール舞台照明設備改修工事 ○芳井生涯学習センター <ul style="list-style-type: none"> 高圧ケーブル更新修繕 芳井生涯学習センター駐車場新設工事

	<ul style="list-style-type: none">○図書館<ul style="list-style-type: none">図書館基本構想策定業務委託○平櫛田中美術館<ul style="list-style-type: none">搬入庫シャッター更新工事○体育施設<ul style="list-style-type: none">・運動公園（野球場・陸上競技場・庭球場）<ul style="list-style-type: none">電気受電設備更新工事スコアボード更新設計業務委託庭球場トイレ設計業務委託・井原・美星海洋センター<ul style="list-style-type: none">ろ過機ろ材入替修繕・美星運動場<ul style="list-style-type: none">電気受電設備撤去工事
--	---

〈参考〉教育関係予算の概要

〔基本方針〕

令和8年度(2026年度)は、「井原市第7次総合計画後期基本計画」及び「井原市第2期総合戦略」に掲げる各種施策を着実に推進し、だれもが主役で活躍できる、しあわせが実感できる「元気なまちづくり」の実現に向けて、厳しい財政環境や社会・経済情勢の中にあっても、将来を見据えた持続可能な財政運営を図るため、歳出全般にわたり施策の優先順位を洗い出し、限られた財源を重点的かつ効率的に配分し、予算編成を行った。

〔特徴〕

「井原市第7次総合計画後期基本計画」の4年目にあたり、【ひと】・【経済】・【安心】・【夢・誇り】といった重点取組に沿い、「だれもが主役で活躍できる元気な井原」の実現に向けた各種施策等を着実かつ積極的に展開することとしている。まず、「ひとづくり」においては、本市の未来を担う「井原“志”民」の育成に向けて、「ふるさと井原の未来を創るひとづくり事業」を中心に関連事業を多角的・全庁横断的に展開するとともに、「学校施設屋内運動場空調設備整備事業」に着手し、「アクティブライフ井原施設整備事業」等を推進し、教育環境の整備・充実を図ることとしている。次に、「経済・地場産業活性化」では、「働くひとが活躍できる商工業支援事業」を展開し、ウェルビーイング経営に向けた取組を啓発するとともに、企業の生産性向上や新たな事業展開等を後押しすることで稼ぐ力の向上を図るほか、新たに、「びんごもの創り推進会議」を立ち上げ、産金官学連携によるベンチャー企業の誘致、新たなもの創りビジネスの創出を図ることとしている。また、「安心して生活できる環境づくり」としては、引き続き、本市独自の「保育料等無償化事業」、「子ども医療費無償化事業」を展開するとともに、新たに学校給食について国及び県の補助金に市が上乘せ補助を行い、小学校給食の無償化を実施するほか、在宅で生活する医療的ケア児・重症心身障害児の家族の負担軽減を図るため、費用の一部を補助することとしている。さらに、「夢や誇りがもてる魅力創出」に向けては、「星空保護区」を活かした官民一体の取組に加え、観光地域づくりの舵取り役となる法人「井原市DMO」の設立に向けた取組を推進し、本市の観光資源の掘り起こしと磨き上げをかけ、情報発信力を強化するとともに特産品のブランディング等により、郷土愛の醸成を図ることとしている。

〔議決（一部修正可決）結果〕

議会において、「高齢者等見守り配食事業補助金」13,000千円を減額する一部修正可決がなされた結果、一般会計予算額は、260億9,900万円となり、前年度当初比1億7,200万円、0.7%増となっている。

[歳入]

自主財源の大部分を占める市税については、賃金上昇等により個人市民税は微増となっているものの、人件費や原材料といった原価の高騰等の影響により、法人市民税は横ばいの傾向が続いており、国の地方財政対策では、地方税は堅調で前年度比5.2%の増収が見込まれている中、市税全体では前年度当初比2.7%増にとどまり、約1億3,000万円増の47億8,998万円を計上している。また、ふるさと納税寄附額の増加に努めたことから、ふるさと応援基金繰入金について、約1,600万円増の4億1,669万9千円を計上している。一方、依存財源のうち地方交付税は、国の地方財政計画等に基づき前年度当初比で2億5,000万円増の84億5,000万円を見込んでいる。また、市債については、岡山県西部衛生施設組合への廃棄物処理施設整備費負担事業債が約17億円減額となったことから、市債全体で、前年度当初比約45%減の15億8,500万円を計上している。なお、収支の均衡を図るため、財政調整基金から12億6,060万円の繰り入れを行うこととしており、その結果、自主財源は、99億6,915万4千円（構成比38.2%）、依存財源は、161億2,984万6千円（構成比61.8%）となっている。

[歳出]

教育関係では、引き続き、ふるさと井原の未来を担う子どもたちの育成を行うひとづくり事業を推進していくため、本市の「ひとづくり」の基幹施策である「ふるさと井原の未来を創るひとづくり事業」を中心に関連事業を多角的・全庁横断的に展開することとしている。また、学校教育においては、子ども一人ひとりの学力の育成を図るため、「いばらっ子伸びる学力支援事業」等を実施するとともに、「学習支援員」、「教師業務アシスタント」、「外国語指導助手」を全校に配置するほか、個々の習熟度に応じた出題等による効果的な学習が期待されるデジタルドリル教材（AIドリル）を全小中学校で導入することとしている。さらに、学校給食について、国及び県の補助金に市が上乗せ補助することにより、小学校給食費の無償化を実施し、保護者の経済的負担を軽減することとしている。また、教育環境の整備・充実を図るため、「学校施設屋内運動場空調設備整備事業」に着手し、「アクティブライフ井原施設整備事業」を実施するほか、老朽化が進む校舎等の外壁等の施設修繕を行うこととしている。文化・スポーツの振興においては、平櫛田中美術館では、所蔵する作品と平櫛田中賞作家など現代に活躍する彫刻作家の作品をコラボレーションさせた展覧会を開催するほか、「図書館整備基本構想」の策定に着手し、中学校部活動の地域クラブへの円滑な移行を支援するための「部活動地域展開支援補助金」を創設することとしている。

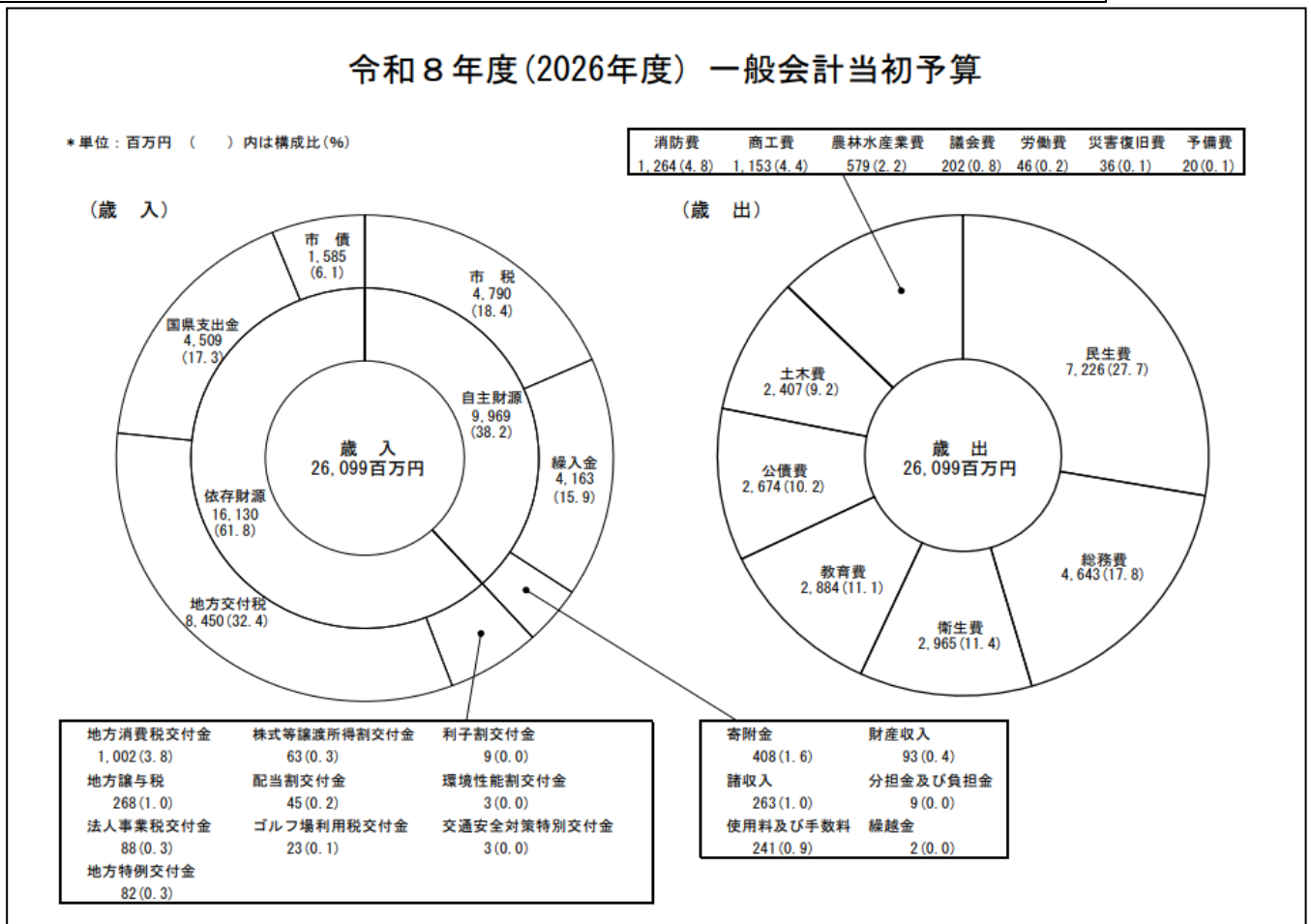
◎令和8年度井原市一般会計当初予算の状況

(単位：千円)

区 分	令和8年度	令和7年度	差引増減	対前年比
予 算 総 額	26,099,000	25,927,000	172,000	100.7%
教育費予算額	2,884,251	3,016,331	▲132,080	95.6%

◎令和8年度井原市一般会計当初予算の構成

令和8年度当初予算総額に占める教育費の割合 11.1% (前年 11.6%)



◎教育費の項別 予算状況

(単位：千円)

区 分	令和8年度	令和7年度	差引増減	対前年比
教育総務費	447,741	415,895	31,846	107.7%
小学校費	284,191	327,412	▲43,221	86.8%
中学校費	158,678	203,439	▲44,761	80.0%
高等学校費	41,048	35,434	5,614	115.8%
幼稚園費	407,564	413,024	▲5,460	98.7%
社会教育費	892,462	629,322	263,140	141.8%
保健体育費	652,567	991,805	▲339,238	65.8%
計	2,884,251	3,016,331	▲132,080	95.6%

児童生徒数(見込)

令和8年4月1日見込(外部用)

	1年		2年		3年		4年		5年		6年		合計		教職員数	幼稚園			教職員数																		
	男	女	計	学級	男	女	計	学級	男	女	計	学級	男	女		計	3歳児	4歳児		5歳児																	
																					3	4	5														
小学校	高屋	8	17	25	1	12	13	25	1	14	16	30	1	12	12	24	1	12	15	27	1	70	81	151	9	2		5	4	8	17	3	5				
	大江	6	6	12	1	5	3	8	1	6	3	9	1	5	5	10	1	4	4	8	1	31	23	54	7	13		0	2	2	4	1	3				
	稲倉	4	3	7	1	4	0	4	1	5	0	5	1	4	2	6		3	3	6	1	22	9	31	6	1											
	県主	1	2	3	1	1	1	2	1	1	0	1		4	1	5	1	4	3	7	1	14	11	25	6	1		0	0	0	0	0	0	0	0		
	木之子	8	11	19	1	7	8	15	1	4	9	13	1	12	8	20	1	9	10	19	1	49	53	102	7	13		2	4	4	10	2	4	1			
	荏原	5	5	10	1	7	2	9	1	3	6	9	1	4	7	11	1	2	6	8	1	25	27	52	8	13		0	1	5	6	1	2	1			
	西江原	14	17	31	1	13	18	31	1	17	22	39	2	17	19	36	2	19	17	36	1	99	108	207	10	17		6	8	8	22	4	7	1			
	野上	0	1	1		0	2	2	1	0	1	1	1	0	1	1		4	1	5	1	4	8	12	6	8		1	1	1	0	2	1	1	1		
	青野	0	3	3	1	2	0	2		1	0	1	1	2	0	2		3	2	5	1	8	7	15	3	7		1	1	1	2	4	1	1	1		
	井原	17	6	23	1	8	14	22	1	13	12	25	1	14	8	22	1	9	11	20	1	70	64	134	8	21		3	2	5	10	2	5	2	5		
	出部	32	29	61	2	37	38	75	3	39	32	71	2	27	27	54	2	31	27	58	2	204	186	390	16	28		14	18	16	48	3	5	2	2		
	美星	5	3	8	1	4	4	8	1	8	5	13	1	8	4	12	1	8	3	11	1	40	21	61	8	13		4	9	8	21	3	5	5	2		
芳井	9	3	12	1	7	14	21	1	16	15	31	1	11	6	17	1	7	8	15	1	60	52	112	8	15		2	3	4	9	2	4	4	4			
計	109	106	215	13	107	117	224	14	127	121	248	14	120	100	220	12	115	110	225	14	696	650	1,346	102	182	4	38	53	62	153	23	42	10	42			
中学校	高屋	19	26	45	2	20	32	52	2	20	28	48	2	20	28	48	2	59	86	145	8	17	1	3	3										1,346		
木之子	22	18	40	2	20	19	39	2	24	26	50	2	24	26	50	2	66	63	129	9	20	1	2	2											784		
井原	66	69	135	4	62	63	125	4	61	73	134	4	61	73	134	4	189	205	394	15	32	1	4	4													
美星	7	6	13	1	7	6	13	1	8	7	15	1	8	7	15	1	22	19	41	5	13	1	2	2												153	
芳井	12	13	25	1	10	12	22	1	16	12	28	1	16	12	28	1	38	37	75	4	13	1	12	12													
計	126	132	258	10	119	132	251	10	129	146	275	10	129	146	275	10	374	410	784	41	95	5	12	12													
高等学校	昼間	18	18	36	1	12	6	18	1	12	8	20	1	12	8	20	1	50	38	88	4																
夜間	2	2	4	1	2	2	4	1	3	1	4	1	3	1	4	1	8	7	15	4																	
計	20	20	40	2	14	8	22	2	14	10	23	2	13	10	23	2	58	45	103	8	9	19															

*教職員数(R7.5.1現在)上段は外教で非常勤講師数(特別非常勤講師除く)
(嘱託園長は下段本務校欄に含む)